

目 次

1. 日本労働社会学会第26期第5回幹事会(2014.10.24)議事録

2. 日本労働社会学会第26回総会(2014.10.25)議事録

3. 日本労働社会学会『年報』2015第26号の原稿募集

★日本労働社会学会事務局(第27期)★

★会費納入のお知らせ★

★住所・メールアドレス変更通知のお願い★

※第26回大会及び工場見学の報告記は、次の第3号でお届けいたします。

1. 日本労働社会学会第26期第5回幹事会議事録

2014年10月24日(金)18:00~20:00

於:駒澤大学駒沢駒澤会館246,6-2会議室

1. 第26回大会(2014年10月24-26日)について

(1)工場見学

・日産自動車横浜工場見学に14名が参加した。

(2)大会開催校

・参加受付状況:67名(工場見学者を含む)+ $\alpha$ で、70数名の参加を見込んでいる。

・懇親会には45名が参加希望。

・シンポジウム会場の決定と、自由論題報告が2報告キャンセルされたとの報告があった。それによって報告時間等の調整をする。

・その他、お弁当の申し込み、会員へのプログラム郵送状況などが報告された。

2. 総会議事について

以下の順に報告し、各担当者がその内容を要約するかたちで報告し、了解された。各内容については、総会議事録と同様なのでそちらを参照してください。

①議長について(橋本代表幹事)

②『労働社会学年報』編集委員会(呉幹事)

③『労働社会学研究』(ジャーナル)編集委員会(山下幹事)

④研究活動委員会(京谷幹事)

⑤関西部会(吉田幹事)

⑥社会学系コンソーシアム担当(橋本幹事)

⑦社会政策関連学会協議会協議員(大西幹事)

- ⑧労働調査プロジェクト等検討委員会（小村幹事）
- ⑨事務局（中川幹事）
- ⑩会計報告（小村幹事）
- ⑪学会奨励賞について（京谷幹事・事務局）
- ⑫次回大会開催校について（橋本代表幹事）

### 3. 総会議事関連以外の委員会報告

- ・とくになし。

### 4. 会員異動

- ・徐亜文氏の退会が承認された。

### 5. 会費減免措置の承認【回覧資料】

- ・3名の申請があり、いずれも承認された。

### 6. 来年度幹事会日程について

- ・12月6日、2015年3月7日、7月4日、9月5日の土曜日、11月6日の金曜日。

以 上

## 2. 日本労働社会学会 第26回総会議事録

2014年10月25日（土）

11時45分～13時45分

駒澤大学駒沢キャンパス1号館1-204 教場

### I. 開会の挨拶（橋本代表幹事）

### II. 開催校あいさつ（山田会員）

### III. 議長選出（橋本代表幹事）

### IV. 第26期活動報告

#### 1. 『労働社会学会年報』編集委員会（呉幹事）

総会配布資料にもとづき、年報第25号の進捗状況が報告された。すでに初稿が発行され、校正スケジュールが順調に進むと、刊行予定は12月10日になる。

特集テーマを、「サービス労働の分析」とし、前年度シンポジウムの報告者4人が執筆した。投稿論文3本、また書評7本が掲載されることも報告された。

#### 2. 『労働社会学研究』（ジャーナル）編集委員会（山下幹事）

(1)ジャーナル第15号が発行され、掲載論文が本学会ホームページにアップされ、広く一般に公開されることになった。その第一号として、中園桐代著「認可保育所を利用する親の労働・子育ての実態：釧路市を事例に」が掲載され、PDFファイルをダウンロードする

ことができる。

## (2)「著作権委譲のお願い」（橋本代表幹事）

総会配布資料「『日本労働社会学会年報』『労働社会学研究』に論文党が掲載された会員へ『著作権委譲』のお願い（公告）」にもとづき報告された。若干の質疑応答があったあと、承認された。

## 3. 研究活動委員会（大重幹事）

幹事会後の例会報告、大会自由論題が行われ、大会シンポジウムが明日開催されることを報告した。

## 4. 関西部会（吉田幹事）

本年6月に、龍谷大学梅田キャンパス研修室で、2件の報告があり、参加者からの質疑応答も活発におこなわれた。

## 5. 社会学系コンソーシアム担当（橋本代表幹事）

(1)「世界へのメッセージ」CD・冊子が発行された。

(2)橋本代表幹事が理事を担当してきたが代表幹事の交替とともに、次期代表幹事が理事となる。評議員は村尾祐美子が担当してきたが、これは継続する。

## 6. 社会政策関連学会協議会協議員（大西幹事）

配付資料にもとづき報告があった。①「社会的包摂」をテーマとした日本学術会議との共催シンポジウムが9月に開催されたこと、②「シニア研究者の研究と生活」というテーマが検討されていること、③協議会サイトに清山幹事の執筆による「女性研究者の仕事と家庭の両立をめぐる問題と支援策」が掲載されていること、④来年度シンポジウムテーマ「地域再生」に本学会への報告要請があったこと。

## 7. 労働調査プロジェクト等検討委員会（小村幹事・橋本代表幹事）

今のところ活動していないのが現状だが、本学会の設立趣旨からすると同プロジェクトの存在意義はある。現状、本質両方を考慮した上で継続させるか廃止するかを含めて、その将来を検討する。

## 8. 事務局（中川幹事）

事務委託先に問題が生じ、事務処理に滞りが出ている。会員には多大な迷惑をかけてしまった。次期幹事会に委託先の変更を提案し引き継ぎ事項とした。

## V. 第26期決算報告（小村幹事）

総会配布資料にもとづき説明がなされた。収入・支出ともに11,101,837円となり予算よりも60万円ほど少なかったこと、2014年度末会員数が253名、同会費納入額が1,664,128円となったことが報告された。

※2014年度決算報告については添付のPDFファイル「日本労働社会学会2014年度決算案」を参照。

## VI. 第26期監査報告（松戸監事）

現金管理、帳簿伝票整理ともに正常、正確であることを確認したとの報告があった。

VII. 第 27 期予算案の審議（小村幹事）

配付資料にもとづいて、前年度予算額・構成とほぼ同じであることが報告された。

※2015 年度予算案については下記「日本労働社会学会 2015 年度予算案」を参照。

以上、V. ～VII. について承認された。

VIII. 第 11 回日本労働社会学会奨励賞の選考方法と結果発表（京谷幹事）

1. 受賞者表彰（表彰状と記念品贈呈） 橋本代表幹事

選考委員長の大野会員より選考理由が説明されたあと、表彰式がおこなわれた。

①昨年度受賞者 小谷幸会員

②本年度受賞者発表 今野晴貴会員

2. 労働社会学会奨励賞の選考方法の改訂に関する申し合わせ（京谷幹事）

配付資料にもとづいて説明がなされ、承認された。

IX. 次回（第 27 回）大会開催校について（橋本代表幹事）

大阪市立大学水野会員より以下の日程でおこなわれるという挨拶があった。

開催時期：2015 年 11 月 6 日（金） 工場見学

7 日（土），8 日（日）自由論題報告，シンポジウム

開催校：大阪市立大学

X. 第 27 期選出幹事選挙並びに選挙管理委員会の選出（橋本代表幹事）

1. 橋本代表幹事より選出幹事の候補 10 名の氏名が発表され推薦された。大西祥恵、小川慎一、勝俣達也、園田洋一、戸室健作、樋口博美、松尾孝一、村尾祐美子、山田信行、吉田誠各幹事候補である。

2. 信任投票

選挙管理委員会より上記 10 名が記名された投票用紙が配布され、全員満票をもって信任された。

## 日本労働社会学会 2015 年度予算案

(2014年10月1日～2015年9月30日)

(単位:円)

勘定	費目	2014年度予算	2014年度決算	2015年度予算	対前年度増減	備考
基本勘定	前年度繰越金	8,295,896	8,295,896	8,755,441	459,545	
	会費収入 本年度分	1,400,000	1,298,000	1,400,000	0	
	会費収入 その他年度分	900,000	366,128	900,000	0	
	利子収入	2,000	1,813	2,000	0	ゆうちょ通常貯金利息
	雑収入	0	0	0	0	
	基金勘定より繰入	0	0	0	0	
	小計	10,597,896	9,961,837	11,057,441	459,545	
基金勘定	前年度繰越金	1,140,000	1,140,000	1,140,000	0	
	内訳 年報基金	( 500,000 )	( 500,000 )	( 500,000 )	0	
	内訳 ジャーナルカンパ	( 470,000 )	( 470,000 )	( 470,000 )	0	
	内訳 T基金	( 70,000 )	( 70,000 )	( 70,000 )	0	
	内訳 奨励賞カンパ	( 100,000 )	( 100,000 )	( 100,000 )	0	
	新規受入	0	0	0	0	
	小計	1,140,000	1,140,000	1,140,000	0	
収入計		11,737,896	11,101,837	12,197,441	459,545	
基本勘定	『年報』発行費	700,000	529,200	700,000	0	『年報』第24号
	『研究』(ジャーナル)発行費	200,000	52,500	200,000	0	
	幹事会等出席旅費	400,000	192,280	500,000	100,000	2014年度未払い(92,280円)含む
	郵送通信費	100,000	90,945	100,000	0	
	事務費	30,000	9,409	30,000	0	文具・コピー代等
	奨励賞関連費	80,000	0	80,000	0	選定用図書購入費、賞状・副賞代

	学会HP管理費	10,000	0	20,000	10,000	ドメイン更新手数料 (2014年度6037円含む)
	研究例会参加助成費	100,000	20,000	100,000	0	遠距離報告者の交通費等
	謝金	100,000	38,800	100,000	0	外部講師、非会員パネラー等の謝金・交通費・宿泊費・昼食費
	事務アルバイト費	20,000	20,000	20,000	0	
	払込手数料	10,000	2,985	10,000	0	
	大会会計補充金	100,000	100,000	100,000	0	
	加盟団体年会費	20,000	10,000	20,000	0	社会政策関連学会協議会年会費(1万円)、社会学系コンソーシアム年会費(1万円)
	外部事務委託費	160,000	134,677	160,000	0	
	その他	0	5,600	10,000	10,000	
	予備費(次年度繰越金)	8,567,896	8,755,441	8,907,441	339,545	
	小計	10,597,896	9,961,837	11,057,441	459,545	
基金勘定	取崩し金	0	0	0	0	
	次年度繰越金	1,140,000	1,140,000	1,140,000	0	
	内訳 年報基金	( 500,000 )	( 500,000 )	( 500,000 )	0	
	内訳 ジャーナルカンパ	( 470,000 )	( 470,000 )	( 470,000 )	0	
	内訳 T基金	( 70,000 )	( 70,000 )	( 70,000 )	0	
	内訳 奨励賞カンパ	( 100,000 )	( 100,000 )	( 100,000 )	0	
	小計	1,140,000	1,140,000	1,140,000	0	
	支出計	11,737,896	11,101,837	12,197,441	459,545	

以 上

### 3. 日本労働社会学会『年報』2015 第 26 号の原稿募集

以下は、年報編集委員会からのお知らせです。

#### (1) 日本労働社会学会年報 2015 第 26 号の原稿を募集します。

募集するのは、論文、研究ノート、その他です。皆様の積極的な投稿をお待ちしております。投稿予告及び原稿執筆・提出にあたっては、添付ファイルでお送りしました投稿 規程をよくご

確認ください。

(2) 刊行スケジュールは下記の通りです。

投稿予告締切：3月31日(火)、原稿提出締切：5月11(月)、出版予定：11月

(3) 投稿希望者は、年報編集委員長 ([y-onishi@seinan-gu.ac.jp](mailto:y-onishi@seinan-gu.ac.jp)) に投稿予告を行ってください。

その際、下記の事項を必ず明記してください。

記

件名：学会年報投稿予告

本文：(1)氏名、(2)郵便番号と住所、電話番号、e-mail アドレス、(3)所属機関・職名、同電話番号、(4)論文、研究ノートなどの区分、(5)論文題目

年報編集委員長

大西祥恵

+++++

西南学院大学人間科学部社会福祉学科

大西 祥恵

tel 092-823-4444 (研究室)

fax 092-823-2506 (共同)

e-mail [y-onishi@seinan-gu.ac.jp](mailto:y-onishi@seinan-gu.ac.jp)

+++++

#### 投稿規程

(1988年10月10日 制定)

(1992年10月17日 改訂)

(2002年9月28日 改訂)

(2011年12月15日 改訂)

(2014年7月5日 改訂)

(幹事会承認)

#### [投稿資格および著作権の帰属]

- 1.本誌(日本労働社会学会年報)への投稿資格は、本会員とする。なお、投稿論文が共著論文の場合、執筆者のうち筆頭著者を含む半数以上が本会会員であることを要する。
- 2.本誌に発表された論文等の著作権は日本労働社会学会に帰属する。ただし、著作者自身に

よる複製、公衆送信については、申し出がなくてもこれを許諾する。

#### [投稿原稿]

- 3.本誌への投稿は論文、研究ノート、その他とする。
- 4.投稿する論文は未発表のものに限る。他誌への重複投稿は認めない。既発表の有無・重複投稿の判断等は、編集委員会に帰属する。ただし、学会・研究会等で発表したものについては、この限りではない。

#### [執筆要項]

- 5.投稿は、パソコン類による横書きとする。
- 6.論文及び研究ノートの分量は24,000字以内(図表込：図表は1つにつき400字換算)とする。また、書評は4,000字程度とする。
- 7.原稿は下記の順序に従って記述する。  
題目、英文題目、執筆者名、執筆者ローマ字、本文、注、文献、字数。
- 8.本文の章・節の見出しは、次の通りとする。  
1.2.3…、(1)(2)(3)…、1)2)3)…
- 9.本文への補注は、本文の箇所右肩に(1)、(2)、(3)の記号をつけ、論文末の文献リストの前に一括して掲載する。
- 10.引用文献注は下記のように掲載する。

引用文献注は本文の該当箇所に( )を付して、(著者名、西暦発行年、引用ページ)を示す。引用文献は論文末の補注の後に、著者のアルファベット順に著者名・刊行西暦年、書名(または論文名、掲載誌名、巻号)、出版社の順に一括して掲載する。また、同一の著者の同一年度に発行の著者または論文がある場合には、発行順に a, b, c, … を付する。

- 11.図、表、写真は別紙とし、次のように作成する。
  - (1)本文に該当する箇所の欄外に挿入箇所を朱書きして指定する。
  - (2)図・表の文字の大きさは、別紙で定める図表基準に従うこと。
  - (3)図・表の番号は、図 - 1、表 - 1 のように示し、図・表のそれぞれについて通し番号をつけ、表にはタイトルを上、図にはタイトルを下につける。
  - (4)図・表・写真等を他の著作物から引用する場合は、出典を必ず明記し、必要に応じて原著者または著作権保持者から使用許可を得ること。

#### [申込みと提出]

- 12.投稿希望者は、以下の項目をA4サイズ用の紙1枚に記入し編集委員会宛に申し込む。書式は自由とする。
  - (1)氏名、(2)郵便番号と住所、電話番号、e-mail アドレス、(3)所属機関・職名、同電話番号、(4)論文、研究ノートなどの区分、(5)論文の題目、(6)論文の概略、(7)使用ソフトの名称及びバージョン。
- 13.当初の投稿は原稿とコピー計3部(うちコピー2部は氏名を伏せること)を送付する。また、編集委員会が指定するアドレスに原稿を添付ファイルで送信する。



**[原稿の採否]**

- 14.投稿論文は複数の審査員の審査結果により、編集委員会が掲載の可否を決定する。
- 15.最終段階で完成原稿とコピー計2部を編集委員会に送付する。また、編集委員会が指定するアドレスに原稿を添付ファイルで送信する。

**[図表基準]**

- 16.図表は次の基準により作成するものとする。
  - (1)図表のサイズは年報の1頁以内に収まる分量とする。
  - (2)図表作成の詳細については、原稿提出後に出版社との調整があるので、その指示に従い投稿者の責任において修正することとする。

**[付記]**

- 1.本規程の改訂は、幹事会の承認を得なければならない。
- 2.本規程は、2014年7月5日より実施する。

以 上

---

**★日本労働社会学会事務局（第27期）★**

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25 青山学院大学経済学部

松尾 孝一（まつお こういち）研究室気付

TEL: 03-3409-8846（研究室直通）

FAX: 03-5485-0698

E-mail: matsuo@econ.aoyama.ac.jp 学会 HP: <http://www.jals.jp/>

---

**★会費納入のお知らせ★**

学会費の納入は下記口座までお願いします。

【郵便振替口座】口座番号：00150-1-85076 加入者名：日本労働社会学会

年会費 学生・院生会員：6,000円 一般会員：10,000円

会費減免制度については、下記URLをご参照ください。

<http://www.jals.jp/discount/>

---

**★住所・メールアドレス変更通知のお願い★**

住所変更とメールアドレス変更した場合には、必ず事務局に連絡をお願いします。

以 上

\*\*\*\*\*